

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙



FUTABANOWA

ふたばのわ

Vol.133

2024.11.15



スポーツでつなぐ町民の絆！

第58回 双葉町町民体育祭 P.2

学び舎にお別れを

ふたば幼稚園旧園舎・双葉中学校旧校舎 見学会 P.3

双葉町県南双樹会 双葉町を巡るバスツアー

お知らせ／今月の一枚／町内の放射線モニタリング情報 P.4

今月の表紙

今月の表紙は中野地区復興産業拠点をドローンで撮影した写真です。産業拠点北側のエリア(写真左側)では、復興祈念公園や大和ライフネクスト株式会社のカンファレンスホテル「FUTATABI」の整備が進んでおり、双葉町の復興が着実に進展している様子が映し出されています。

スポーツでつなぐ町民の絆！ 第58回 双葉町町民体育祭



10月12日、東日本大震災・原子力災害伝承館の芝生広場にて「第58回 双葉町町民体育祭」が開催され、町民等約180人が参加しました。

昨年までの「ふたばスポーツフェスティバル」から震災前の「双葉町町民体育祭」に名称が戻され、町民体育祭としての開催は震災後初となります。

大会は5チームに分かれて6つの競技が行われ、震災前に行われていた競技「初期消火」も形を変えて復活し、参加者はチームで声を掛け合いながら競技を楽しんでいました。

大人から子どもまで多くの方が参加し、スポーツを通じて交流を深めた町民体育祭。今回の記事では、大会当日の様子と実行委員長の感想を紹介します。



大会実行委員長
栗田 要さん
(NPO法人双葉ふれあいクラブ理事長)

今日来場された皆さんに、どうだった？と尋ねてみると、楽しかったという声を多くいただき、携わった者として非常に嬉しく思っています。

久しぶりに運動する方が多かったので、ケガが心配でしたが、幸いにもケガ人は一人も出ず、無事に終わられて安心しました。楽しかったという言葉 皆さんからいただけたことが私たちの何よりの喜びです。



キャッチングボールむかで



ボールとさんぽ



初期消火



宝拾い



玉入れ



優勝した緑チーム



ボウリング



学び舎にお別れを ふたば幼稚園旧園舎 双葉中学校旧校舎 見学会



10月5日、6日の2日間、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で解体が予定されている、ふたば幼稚園旧園舎と双葉中学校旧校舎の見学会が行われました。

震災当時、幼稚園では数日後に控えた修了式の準備が進められ、中学校では卒業式が行われたばかり。園舎や校舎には、当時のままの看板や装飾が残され、来場者は思い出をたどり、仲間たちや当時の先生との再会を楽しみながらも複雑な気持ちのようでした。

2日間とも多くの卒業生が家族や友人とともに訪れ、かつての学び舎との別れを惜しむ感慨深いひとときとなりました。



双葉町県南双樹会

双葉町を巡るバスツアー

10月17日、県南双樹会バスツアーが双葉町を訪問しました。

このツアーは、長崎大学・双葉町復興推進拠点による支援事業の一環として今回初めて行われ、県南双樹会の22人が参加しました。

当日は中野地区復興産業拠点に立地するひなた工房双葉、浅野燃系(株)双葉事業所の見学と双葉町役場、JR双葉駅周辺の避難指示が解除されたエリアの復興状況視察のほか、町に帰還・移住した住民との交流会も行われました。

また、長崎大学の教員による「双葉町における放射線の現状」と題した講話と、線量計を用いた双葉駅前の空間線量率の測定により双葉町の放射線に関する現状を理解する機会が設けられました。参加者からは、「これまで新しい役場や町の各所をしっかりと見て回る事がなかったが、今回、住民や役場の職員と会うことができるなど、貴重な機会となった」といった声が聞かれました。

「作成協力」長崎大学原爆後障害医療研究所助教 柏崎 佑哉・肖 旭



お知らせ

双葉町議会議員一般選挙・双葉町長選挙について

任期満了に伴う双葉町議会議員一般選挙及び双葉町長選挙を下記の日程で行います。

記

告示 令和7年1月16日(木)

投票 令和7年1月26日(日)

立候補に関する詳細と投票日や投票場所、投票方法については、広報ふたばおよび町ホームページでお知らせします。また、「選挙のお知らせ」に一部地域の方については、「不在者投票用紙請求書」を同封した封筒を、12月中旬頃に有権者の皆さまへ郵送する予定です。

【問い合わせ先】

双葉町選挙管理委員会(総務課内)電話0240-33-0124

町内の放射線モニタリング情報

町内の放射線モニタリング情報は右のQRコードよりご確認いただけます。

測定値は随時更新中です。

詳細はこちらから
ご覧下さい。➡



今月の一枚

「前沢の女宝財踊」の記録撮影が行われました。



10月16日、伝統芸能保存プロジェクトの一環として「前沢の女宝財踊」の記録撮影が行われました。13人のメンバーが前田の稲荷神社で華やかな踊りを披露し、伝統の技を未来に残す大切な一日となりました。撮影された映像はDVDとしてメンバーに配布されるほか、町の公式YouTubeチャンネルでも公開される予定です。